

樹木の力を利用した取り組み

～愛知県治水砂防協会 現地案内～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

愛知県治水砂防協会の方々が、市町村職員研修の一環として、国の直轄砂防事業について学び、砂防への認識を深めるために、六甲砂防事務所を来訪されました。

六甲山地での砂防事業の取り組みについて説明を行い、砂防えん堤や斜面对策の現場を見学していただきました。

概要

日時：平成26年7月14日(月)
13:30～17:00

場所：六甲砂防事務所、渦ヶ森地区
斜面对策(石屋川上流)など

主催：愛知県治水砂防協会

参加人数：30名



六甲山地の砂防事業についての説明

○斜面对策について説明

六甲砂防事務所では、構造物による斜面对策と樹木の力を利用して土砂災害の防止を目指す、「六甲山系グリーンベルト整備事業」に取り組んでいます。樹木で斜面对策を行えば景観としても良いのですが、急斜面や住宅地の



土石流実験

近くでは、樹木だけでは斜面の崩落は防ぎきれません。そのため、コンクリートによる法枠工などで対策を行い、その際もなるべく樹木を残すように取り組んでいることを説明しました。



焼ヶ原えん堤



渦ヶ森地区斜面对策

その後は砂防施設の現場を案内し、焼ヶ原えん堤では、砂防えん堤と住宅地が近接している六甲山地の特徴を、渦ヶ森地区では実際に樹木を残した斜面对策の様子を見ていただきました。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

